

**製品名: GDF-8 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11388**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用****希釈倍率** WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	MSTN
別名	MSTN; GDF8; Growth/differentiation factor 8; GDF-8; Myostatin
遺伝子 ID	2660.0
SwissProt ID	O14793
免疫原	抗血清はヒト GDF-8 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 38-87

**背景**

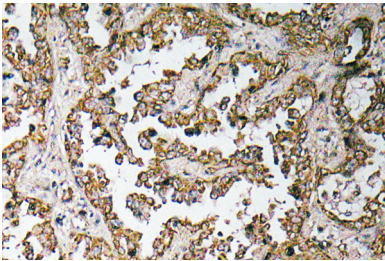
ミオスタチン (MSTN) ホモサピエンス この遺伝子は、TGF- $\beta$  (形質転換成長因子  $\beta$ ) タンパク質スーパーファミリーの分泌リガンドをコードしています。このファミリーのリガンドは、さまざまな TGF- $\beta$  受容体に結合し、遺伝子発現を制御する SMAD ファミリー転

写因子のリクルートメントと活性化につながります。コードされているプレプロタンパク質は、タンパク質分解によって処理され、ジスルフィド結合したホモ二量体の各サブユニットを生成します。このタンパク質は、骨格筋細胞の増殖と分化を負に制御します。この遺伝子の変異は、ヒトや他の哺乳類の骨格筋量の増加に関連しています。[RefSeq 提供、2016年7月]機能: 骨格筋の成長の負の調節因子として特異的に作用します。、オンライン情報: ミオスタチンエントリ、類似性: TGF- $\beta$ ファミリーに属します。、サブユニット: ホモ二量体、ジスルフィド結合 (類似性による)。 WFIKKN2 と相互作用し、その活性を阻害します。

## 研究分野

-

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト肺癌組織における GDF-8 抗体の免疫組織化学分析。